

北海道で初めての試み 北洋銀行・損保ジャパン・遺愛学院 教育支援協定を締結

遺愛では2022年度からSDGsに、学校として積極的に取り組むことにしました。今まで遺愛女子中学高等学校では、年に1度の修養会というプログラムを通し、平和・環境・福祉をテーマに3年サイクルで学んできました。いずれもSDGsの17目標のなかに含まれています。

この度、北洋銀行様のご支援のもと、損保ジャパン様のご協力を得て、SDGsについてより深く学ぶ機会を得られることになりました。銀行・保険会社・学校との協定は北海道で初めての試みです。これを機会に、新たに「道南地域の活性化」にむけて、地域の企業や町内会とも連携しながら踏み出すこととなります。まずは高校1年生からの宣言、取り組みになりますが、3年後には学校全体の取り組みになればと願っています。

基本的な考え方はやはり「Think Globally, Act Locally」だと思います。世界規模の課題を常に意識し考えながら、身近なところから実行に移すということです。派手な取り組みとはならないかもしれませんが、「小さくても一歩ずつ一歩ずつ」を心に刻みながら進めていければと願っています。

2022年6月3日（金）

